

## 住宅街での交通事故を防ごう

スピードを出して住宅街を走行すると、歩行者の飛び出し等に対応できないことがあります。自動車と歩行者が衝突した場合、自動車のスピードが時速30キロを超えると、歩行者の致死率が急激にアップします。

生活道路では、危険を感じればいつでも止まれるスピードで進行しましょう。

◎スピードにひそむ危険！

◎スピード超過に注意！

スピードには一定の危険が潜んでおり、「スピードの出しすぎ」は、交通事故の危険性を高め交通事故による被害も大きくします。

- ★ **衝突の危険性の増大**：速度が高ければ高いほど、停止距離が延びます。停止距離が延びるということは止まりたくても止まらない前方の危険が大きくなります。つまり、「スピードの出しすぎ」は、避けても避けられない危険の増大につながるため、他者との衝突の危険性を高めます。
- ★ **致死率の増大**：交通事故の大きさは、衝撃力の大きさに関係があります。速度が高ければ高いほど、交通事故は大きくなる、つまり交通事故が死亡事故になる危険性が高まるということです。危険を認知したときの自動車の速度が高いと、衝突時の致死率が高まる可以说。



自ら危険事態を招くような運転をしない・・・ということが大切です。

◆◆速度超過違反取締り強化中◆◆